

令和四年度 前期選抜学力検査問題  
国語 (一時間目 四十五分)

受検番号

氏名

注意

一 問題は、表と裏にあります。  
二 答えは、すべて解答欄に記入しなさい。

表 合 計

一 次の文章を読んで、1～7の問いに答えなさい。

合 計

二次の文章を読んで、1～7の問いに答えなさい。

三 次の文章を読んで、1～5の問いに答えなさい。

\* 法頭三蔵の天竺に渡りて、故郷の扇を見ては悲しみ、病に臥して  
 \* 漢の食を願ひ給へることを聞きて、「さばかりの人の、むげにこそ心よはき気色を人の国にて見え給けれ」と人の言ひしに、弘融が  
 \* 「優に情ありける三蔵なり」と言ひたりしこそ、法師のやうにもあらず、心にくく覚えしか。

『徒然草』による

- 【注】 \* 法頭三蔵……中国晋代の高僧 \* 天竺……インドの古称  
 \* 漢の食……故郷中国の食べ物 \* さばかりの人の……あれほどの人が \* むげに……ひどく  
 \* 人の国……外国。ここでは天竺をさす \* 弘融……仁和寺の僧侶 \* 優に……やさしく  
 \* 心にくく……奥ゆかしく。心がひかれる

1 よはき<sup>①</sup>言ひたり<sup>②</sup>を現代仮名遣いに直し、すべて平仮名で書きなさい。

①
②

2 聞きてとあるが、聞いた内容を次のようにまとめた。「I」「II」に適する内容をそれぞれ現代語で書きなさい。

三蔵が天竺で、故郷の扇を見たときには故郷を「I」ことや、病気になったときには「II」と願ったことを聞いた。

I
II

3 法師のやうにもあらずとは誰のことか。本文中から抜き書きしなさい。

--

4 次の文章について話し合っているAさんとBさんの会話である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

A 天竺での三蔵の逸話を聞いた人は、三蔵は高僧だから、どこにいても「a」で過ごしたと思っていたんだらうね。  
 B でも、実際はそうでなかった三蔵に対して、弘融は逆に好感をもったんだね。  
 A そうだね。三蔵に対する弘融の好感は「b」という評価の言葉からも分かるよ。  
 B 同じ逸話を聞いて、「c」と思った人もいれば、弘融のように考えた人もいるんだね。

(1) 「a」に当てはまる最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで記号を書きなさい。

- ア 動じない様子      イ 孤立した様子  
 ウ 協力的な様子      エ 慈悲深い様子

(2) 「b」に当てはまる語句を、本文中から七字で抜き書きしなさい。

-----
-----
-----
-----

(3) 「c」に適する内容を現代語で書きなさい。

--

5 筆者が心にくく覚えしかと感じたのは何に對してか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで記号を書きなさい。

- ア 筆者に逸話を教えてくれた人の親切  
 イ 三蔵に向けられた天竺の人々の感謝  
 ウ 困難な状況にも負けない三蔵の執念  
 エ 三蔵の人間味を賞賛する弘融の姿勢

--